

平成 28 年 6 月

③ 震災津波伝承施設として考慮すべき事項

(1) 施設設計

● 更新性の高い展示施設

新しい研究成果や最新の復興情報などを随時展示に反映させるための更新性の高い展示システムの導入

● 運営に優しい施設

メンテナンスやランニングコストを考慮した運営に負荷をかけない施設づくり

● 人に優しい施設

利用者にわかりやすい展示とするとともに、お年寄り、子ども、障がいを持つ人々、外国人など、全ての人々にとって利用しやすい施設づくり

(2) 事業展開

● 防災教育普及・交流事業の推進

修学旅行などの受け入れや、ワークショップ、フィールドツアー、交流イベントの企画など、県民協働による防災教育普及・交流事業の推進

● 調査研究における連携

津波災害に関する調査研究機関、復興に関する調査研究機関などとの連携

● アーカイブの活用

「岩手県震災アーカイブ（仮称）」の有効活用の推進

(3) 関連する施設等との連携

● 公園内の施設間の連携等

- ・ 本施設と一体整備される高田松原津波復興祈念公園、国営追悼・祈念施設（仮称）、重点道の駅高田松原などの関連施設との連携
- ・ 震災遺構等の屋外展示としての活用
- ・ 施設を訪れる方々の安全を確保

【高田松原津波復興祈念公園内の震災遺構等】



奇跡の一本松 道の駅高田松原 タビック 45 気仙中学校 下宿定住促進住宅
写真 4 枚の出典：国土交通省 HP

● 三陸沿岸市町村、その他関係団体との役割分担と連携

各市町村の伝承施設と連携した企画展示や協働イベントなど、三陸全体での取組などの推進

※本資料の写真について、出典の記載のないものは東北地方整備局「震災伝承館」HPより使用

震災津波伝承施設に関する最新情報

- 岩手県ホームページ「高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会」
(<http://www.pref.iwate.jp/anzen/machizukuri/38466/index.html>)
岩手県復興局 まちづくり再生課 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1 / 電話番号：019-629-6935 ファクス番号：019-629-6944
- 国土交通省 東北地方整備局ホームページ「岩手県における復興祈念公園」
(http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b06111/kenseibup/memorial_park/iwate/)

【位置】

陸前高田市高田松原地区に整備される『高田松原津波復興祈念公園』内

【目的】

東日本大震災津波の事実と教訓を伝承するための施設整備

【基本計画】

施設における展示の基本的な考え方や方向性等についての計画



上空から見た公園予定地（平成 27 年 3 月 岩手県撮影）

① 展示の基本的な考え方

■ 震災津波伝承施設の整備方針

- ・ 東日本大震災津波の事実と教訓の世界そして未来への伝承
- ・ 復興に立ち上がる姿と感謝の発信
- ・ 三陸沿岸地域へのゲートウェイ機能を有する施設として整備
- ・ 屋外の震災遺構等を震災被害の実物展示として活用

■ 震災津波伝承施設の使命

- ・ 多くの尊い命を失った東日本大震災津波のありのままの事実と命を守るための教訓を語り継ぎ、未来へ伝承
- ・ 世界に向け、災害を乗り越え、復興に向けて力強く歩いていく姿を発信

■ 展示のテーマ（展示を通じ、問いかけるもの）

いのちを守り、海と大地と共に生きる
～二度と東日本大震災津波の悲しみを繰り返さないために～

■ 展示の基本方針

東日本大震災津波の事実を
浮き彫りにする展示

多面的な震災津波災害の事実をありのままに描き出す。

- 津波の事実
- 被害の事実
- 避難生活の事実
- 復興の事実 等



東日本大震災津波の実経験からの
教訓を伝える展示

東日本大震災津波という未曾有の災害の実経験から得た教訓を伝える。

- 「逃げる」教訓
- 「助ける」教訓
- 「支援する」教訓
- 「復興」の教訓 等



津波災害への対応の歴史を
学ぶ展示

津波災害と向き合い、備えてきた三陸地域の歴史などを通して、悲劇を繰り返さないために何をすべきかを考える場を創出する。



2 展示を具体化するに当たっての方向性

■ 展示構成と各ゾーンの考え方

ゾーン1. 導入展示

震災前の故郷の姿・暮らしの風景

失われた風景を訪ねる 三陸の暮らし・自然を考える

- 震災津波によって失われた故郷の歴史・文化・暮らしの風景を紹介する。
- 繰り返し襲来した津波を乗り越え、自然と共生してきた三陸の人々の営みと、その姿を紹介する。

私たちのテーマ

- 展示観覧に先立ち、「私たちは、将来の大震災・大津波から命を守るために何ができるのか？」を問いかける。



写真出典：Yahoo! JAPAN 東日本大震災写真保存プロジェクト

ゾーン2. 事実を知る

その時何が起きたのか

東日本大震災津波とは（ガイダンス）

- 東日本大震災津波の全体像、被害の実相等をありのままに伝える。

被災者から見た震災津波の事実

- 大津波の脅威、避難時の状況、生活再建に当たっての問題など、被災の深刻な実態を被災者の目線から、時間軸に沿ってつづさに辿る。



ゾーン3. 教訓を学ぶ

人びとはどのように行動したのか

行動の事実から教訓を学ぶ

- 東日本大震災津波の教訓（逃げる・助ける・支える等）を伝える。

被災地ドキュメント

- 多様な主体による救助、復旧の全体像を時間軸に沿って紹介する。

防災文化を考える

- 津波災害の歴史と三陸地域に育まれてきた防災文化を学び、津波に向き合う自然観を捉えなおす。

この惨禍を繰り返さないために

- 今回の震災への対応で何が足りなかったのか、今後何をなすべきか、提示する。



ゾーン4. 復興を共に進める

復興への意志、願い、足跡、絆づくり

復興に立ち上がる

～多様な主体による取組～

- 安全なまちづくり、なりわいの再生、コミュニティ再生、次世代育成など、多様な主体による復興の取組を紹介する。

支援への感謝

- 全国・世界からのあたたかい支援を紹介し、感謝の気持ちを伝える。



ゾーン5. 地域と交流する

三陸沿岸地域へと誘う

フィールドへ誘う

- 「高田松原津波復興祈念公園」のフィールドへ誘うための情報提供を行う。

陸前高田市街地へ誘う

- 地元陸前高田市の市街地へと誘うための情報提供を行う。

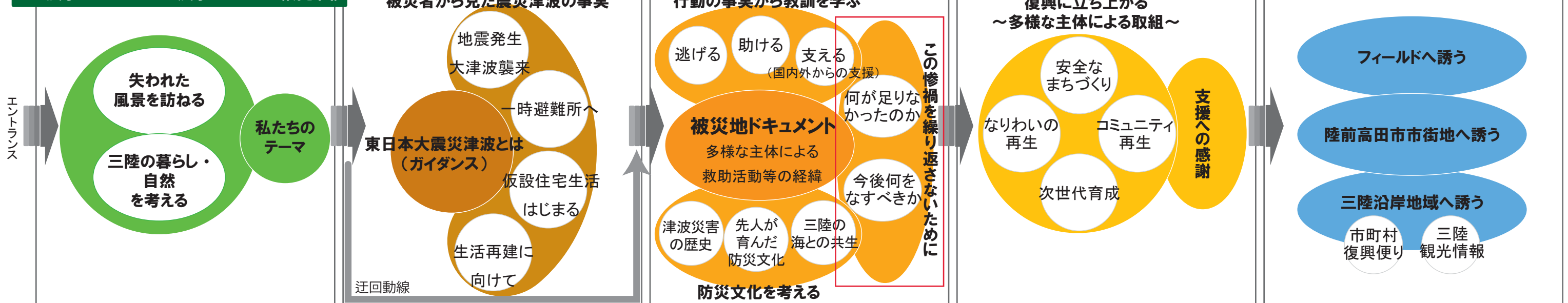
三陸沿岸地域へ誘う

- 三陸沿岸市町村のまちづくりの取組や復興状況等を発信する。
- 三陸沿岸市町村の震災伝承施設、ジオパーク等の情報や観光情報等を発信する。



写真出典：岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」

■ 展示ストーリーと展示イメージ（概念図）



※上記常設展示のほか、企画展示に使用できる空間を設けるものとする。